

近年、地球温暖化防止に向けての二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)削減や、RoHS指令(電気・電子機器中の特定有害物質の使用制限に関する指令)などに対応した有害廃棄物の削減、エレベーターの重大事故防止が求められています。また、昇降機では、環境負荷の低減と豊かな価値の創造を同時に実現することを目指すとともに、安全性を向上させた製品づくりが進められています。

このような背景の下、マシンルームレスエレベーターの機能を更に向上させた“New SPACEL-EX™”を商品化しました。安全面からの規制が強化された改正建築基準法施行令や昇降機耐振設計・施工指針 2009年版に準拠したほか、ユニバーサルデザインを取り入れた液晶インジケータの採用や、抗菌ボタンの採用など、快適性の向上と使い勝手に配慮した製品を実現しました。また、既存の油圧式エレベーターのリニューアル市場向けに、環境負荷の低減と乗り心地を向上させ、更に工事期間を大幅に短縮してロープ式エレベーターにするリニューアル商品を開発し、2009年12月に市場投入しました。既設のホール用品やかごなどを活用することで工期短縮を実現しました。更に、廃棄物を最大60%削減できました。

今後も当社は、安全・安心・快適を追求して、お客さまに満足してご利用いただける製品を提供していきます。

統括技師長 原田 豊

### ● マシンルームレスエレベーター New SPACEL-EX™

安全面が強化された改正建築基準法に規定された“戸開走行保護装置”を装備するほか、新形天井やLED(発光ダイオード)照明の採用、業界初<sup>(注)</sup>となる“カラーユニバーサルデザイン認証”を取得した液晶インジケータの採用など、意匠面を充実させたマシンルームレスエレベーター“New SPACEL-EX™”を商品化した。

抗菌製品技術協議会(SIAA)の基準に適合する抗菌ボタンや抗菌かご操作盤の採用により快適性の向上を図るとともに、台風などの際、かごを最上階に移動させて運転を休止する機能など安全面の配慮もなされている。

今後も顧客の要望を取り入れながら、誰もが安心して利用できるエレベーターの開発を進めていく。

(注) 2009年2月時点、当社調べ。

関係論文：東芝レビュー、65、2、2009、p.15-18。

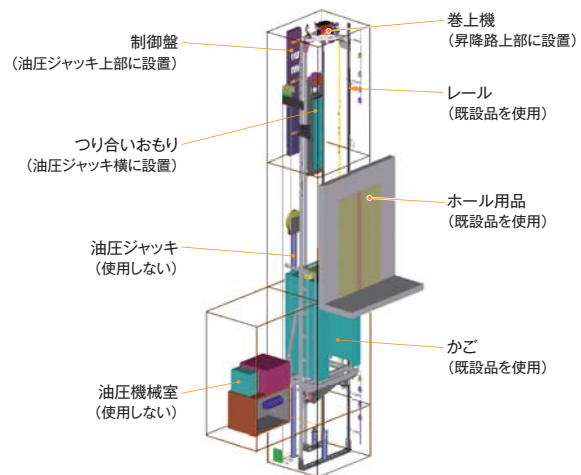


New SPACEL-EX™ かごデザインの特長  
Features of New SPACEL-EX™ elevator car design

### ● 既設油圧式エレベーターのリニューアルシステム

過去に多く設置された油圧式エレベーターをロープ式エレベーターへリニューアルする要望が高まっているが、従来のリニューアル商品は長い工期を要し、かつ高コストであることからリニューアルが十分進んでいない状況である。

当社は、この問題を解決するため、既設のホール用品、かご、レールなどを残し、短工期と低コストを実現し、環境性、省エネ性、及び乗り心地に優れた最新のロープ式マシンルームレスエレベーターに変更するリニューアル商品を開発した。作動油が不要で、消費電力及び交換用品の削減など、環境に十分配慮するとともに、安全面が強化された改正建築基準法にも対応した、より安全性の高いシステムとなっている。



油圧式エレベーター リニューアルシステム  
Hydraulic elevator renewal system